

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名：熊本県小国町

活動地域：熊本県小国町

活動におけるテーマ



地熱とバイオマスを 活かしたまちづくり

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

◆地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

・2030年に向けて、今描いている将来ビジョン

**地域資源（地熱と森林）を活かした循環型の社会と
産業を創出し、将来にわたって持続可能な町**

・2030年のあるべき姿

経済面 ▶▶ 町が主体的に行う地域資源の有効活用を実現するまち

- 本町が参画する地域PPSによる発電事業や、町内事業所及び家庭向けの熱供給事業など、豊富な地域資源を活用した事業展開を推進し、持続可能な経済システムの確立・活性化を目指す。

社会面 ▶▶ SDGs推進のための研究・交流拠点整備と新産業が創出できるまち

- 旧西里小学校を活用したエネルギー研究・交流拠点を整備し、産官学金労言による地域資源の活用に関する調査研究活動、町内外の人的交流を促進することで、SDGsの担い手となる地域人材の育成や、新たな地域産業の創出を促すほか、交通インフラをはじめとする生活基盤の維持・拡充にも取組、持続可能な地域コミュニティの実現を目指す。

環境面 ▶▶ 町内が一体となって低炭素行動ができるまち

- SDGsの普及・啓発により、町民一人ひとりが主体的にエコ活動を推進する風土を醸成し、再生可能エネルギーの利用促進、森林資源の保全・有効活用など、町民・町内事業者が一体となった低炭素行動に取組、町全の環境負荷低減を目指す。

地域の現状と課題

地域の現状

◎活動地域の概要

- ・人口7,200人
- ・面積137km²
- ・H25 環境モデル都市
- ・H30 S D G s 未来都市

◎活動地域の特性（強み・弱み）

- ・観光資源（温泉・自然）
- ・電力自給率

◎活動地域にある地域資源

- ・地熱
- ・森林（総面積の78%）

課 題

◎現状から考える地域の課題

- ・地域産業の空洞化
- ・コミュニティの崩壊

◎今後取り組むべき課題

- ・地熱資源の多面的活用
- ・森林資源の高付加価値化による事業性向上
- ・公共交通システムの維持と拡充

◎課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようとする課題

- ・人口減少の食い止め
- ・GDPの増額

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために



多様なステークホルダーによる会議体の設置

- ◆住民：SDGs未来会議
⇒ 行動、推進主体、意見出し、検討
- ◆行政：SDGs推進職員会議
⇒ 行動、推進主体、意見出し、検討
- ◆企業：ネイチャーエナジー小国(株)
⇒ 事業主体
- ◆金融：肥後銀行、熊本銀行、JA
⇒ 資金供給
- ◆有識者：アドバイザリーボード
⇒ 技術的専門支援、助言、運営支援

地域コンソーシアム

小国町SDGs未来都市デザインセンター（仮称）
事業化ヴィーグルの設置

今後の事業取り組み予定

1. 持続可能な町になるための社会システム実装

- ・町の資源を有効活用しながら、社会面、経済面、環境面の取組を有機的につなげ、「小国町ならではの」、持続可能なエコシステム=まちづくりの仕組みを構築し、実践実装していくことがゴール。
- ・エコシステムが自律して動くこと、根付くことを目指す。

2. 社会システム=事業化ヴィーグルの立ち上げ

- ・このエコシステムで最も重要な役割を担うのが、「エネルギー研究・交流拠点」の運営機能（事業主体）。
- ・町内外の人的交流、経済的交流、ノウハウの蓄積等を行い、SDGs未来都市に位置づけられる様々な事業を「創発・プロデュース」していくことになり、地域の経済循環を自ら事業主体となってけん引していく事業主体（ヴィーグル）が必要。

3. 官民連携による事業化及び事業化ヴィーグル組織

- ・今までの取組を含めて、①町内複数のプロジェクトが有機的に連携し、相乗効果を生み出すことや、②町民、町内事業者、町（行政）が参画・連携することで、地域経済への効果を最大化していくことが課題。
- ・官民連携による事業化ヴィーグルを立ち上げることで、町のグリップ（ガバナンスが効く状態に）すること及び町民、町内企業との着実な連携を図る事業推進体制及びスキームの実現を目指す。

スケジュール（令和元年度）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|----|----|-----------------|-----------------------------------|----|---------------|--------|--------------|----------------|----------------------------|--------|-------------------|
| 事業全体の予定 | | | | ◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング | | | | 現地意見交換会 | | ◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇ | | ◇成果発表会 ◇シンポジウム |
| ビジョンの策定 | | | | | | | ビジョン検討 | | | | ビジョン策定 | |
| ステークホルダーの巻き込み | | | | | | ◇SDGs未来会議 第1回 | | ◇アドバイザーボード委嘱 | ◇アドバイザーボードとの協議 | | | |
| | | | ◇SDGs推進職員会議 第1回 | | | | | ◇第2回 | | ◇第3回 | | |
| | | | | | | | | | ◇全国木のまちサミット | | | |
| | | | | | | | | | 企業等との連携調整 | | | |
| | | | | | | | | | マスコミとの連携 | | | |